

令和3年度 学校関係者評価（2月）

中津市立沖代小学校

1 学校の教育目標

自ら学び合い 仲間と共に やり抜く児童の育成

2 育成をめざす資質・能力

- 自己の課題に気づき、解決のための活動を選び挑戦する力（問題解決力）
- 他者と対話的に関わりながら、自己や他者を尊重する力（人間関係形成力）

3 重点目標・達成指標、重点的取組等

評定判断基準

A …達成率90～100% B …達成率70～89% C …達成率60～69% D …達成率60%未満

目指す資質・能力	重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価	成果と課題、及び次期（次年度）に向けての取組		
空きて働く知識・技能の習得	わかるできるを実感する	○「学校の勉強はわかる」と答える児童児童90%	学 校	○国語算数の単元テストで達成率80%以上。	C層の学力保障（年間を通した学力づくり）と授業参加ができる授業改善	B	<ul style="list-style-type: none"> • キーワードを意識させながら、C層を念頭に置いた授業で、学力保障に一定の成果が出ていることは良い評価です。 • 「めあて・課題～まとめ・振り返り」の学習の中でタブレット等を有効に活用している（しようとしている）最近の授業の様子が資料から分かります。 • 先生方の「成果と課題」にあるように「やり直しや日々の積み重ね」によってこれからも、児童の「分かった」の声を増やして欲しいです。 • 低学年（指定学習）→高学年（自主学習）の流れが良い。 • 自主学習の量や質については、担任の確認や助言が必要な場合がある。自学ノートの紹介などは、良い取組だと思う。 • 点数だけではわかりにくい面がある。低学年の時ほど、どのくらいの位置にいるのかが分かるような分布表があると良いのではないかな。 	
		○各種学力調査達成率 70%以上		つけたい力を明確にした家庭学習の推進				A
		○自ら進んで家庭学習に取り組む児童の割合 80%以上	家庭	主体的に自分の学習・読書を計画できる力の育成	• 毎日自主的に取り組む家庭学習ガイドに沿って、励ましの声かけをする。	A		
		○児童アンケートで「進んで読書をしている」と答える児童70%以上	地域	学習サポーターやボランティア活動の充実	• どの学年にも読み聞かせや学習サポーターとして学期に1回以上参加する。	A		
未知の状況にも対応できる思考	他者と対話的に関わり重んずく	○他者の意見を取り入れ思考を深める児童の割合80%以上	学 校	○児童アンケートで「挨拶ができて満足」と答える割合が90%以上	学年に応じた学び合いの姿の共通理解と自ら学び合う学習の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ禍の中、様々な工夫で互いの考えを交流しながら、学び合いを実施してきたことは、すばらしい。大変な努力だったと思う。 • 今は難しいかもしれないが、毎日、歌声が響いたり、あいさつが聞こえたりする学校は、活気が生まれ、児童も教師も明るく前向きな思考や行動につながる気がする。 • 学校はもちろん、保護者や地域も一緒に取組を継続していく。 • あいさつを気持ちよく返してくれる児童が多い。しかし、自分から近所の人にあいさつをすることは、少しハードルが高いようです。 • 「おかえり」の声かけにはどう返したらよいか、難しいようでした。子どもが応えやすい声かけを心がけていきたい。 	
		○児童アンケートで「運動が楽しい」と答える割合が85%以上		家庭	主体的に他者と関わろうとする態度を養う	• あいさつの意義について話し合い、すすんであいさつするよう働きかける		A
		○自分の生活や生き方を考えることができた児童80%	学 校	○学校や学年や学級の課題に気づき、自分たちで取り組みを決め、解決できると答える児童 80%	安心してすごせる学級づくり（人権学習と日常のつながりを意識した取り組みの推進）	• 具体的に行う日を決定し、人間関係づくりプログラムに取り組む。		B
		○児童アンケートで「運動が楽しい」と答える割合が85%以上		生活の中で主体的に運動に取り組む場の設定	• 学年学級が目指す具体的な姿を示し、毎日の振り返りをするともに、取組の成果を「見える化」「聞こえる化」する	A		
とする学びに向かう力・人間性	自己や集団の課題に向きあう	○児童アンケートで「運動が楽しい」と答える割合が85%以上	学 校	○生活の中で主体的に運動に取り組む場の設定	• 体育学習の年間指導計画に応じて、遊びながら体力を高めることができる場を体育委員会と協力して設ける。	A		
		○児童アンケートで「運動が楽しい」と答える割合が85%以上		生活の中で自分の自分の課題に気づき改善しようとする力の育成	• 生活リズムやインターネット使用についてルールをつくり定期的に子どもと話し合う。	A		
		○児童アンケートで「運動が楽しい」と答える割合が85%以上	地域	地域のよさや課題を伝える	• 単元や教材に応じたゲストティーチャーとして活動を行う			
		○児童アンケートで「運動が楽しい」と答える割合が85%以上	学 校	○「沖代小学校は、困ったとき学年・分掌部等チームで助け合える職場である」と答える教職員の割合が80%以上	• チームで育てる学年・分掌運営 • 会議の前に短時間で学年会を持つなどより全体の意見を集約できる効率化された分掌会議の実施	• 課題の改善や緊急の対応を学年・分掌部等チームで行う。 • 会議の目的の明確化と各種会議の円滑な実施	A	
革の推進	働き方改革	○児童アンケートで「運動が楽しい」と答える割合が85%以上	学 校	働き方改革における学校業務の共通理解とサポート	学校の働き方改革について理解し、ゲストティーチャーやサポーターとして学校支援を行う。	A	<ul style="list-style-type: none"> • 「助け合える職場である」92%は、先生方の様子からその通りと感じる。 • 学校を訪ねた時、先生方の顔が結構明るかった印象がある。 • 年々新しい課題が生まれ、対応に苦慮すると思いますが、共に悩み、励まし（笑い）合える仲間がいることは、良いことです。 	